

# 2023 / 年報

令和 5 年度

**No.31**

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館



# はじめに

令和5年度は新型コロナ（COVID-19）の5類移行に伴い各種事業でとられていた各種の制限を解除いたしました。各体験事業や講座の参加人数はコロナ前には戻っていませんが、徐々に回復してきているといえるのではないかと思います。令和2年度に3,882人まで落ち込んだ入館者数は、3年度は5,711人となり、4年度には6,426人、そして、5年度には7,293人まで回復してきました。

今年度の特別テーマ展は「高瀬山の考古学Ⅱ－弥生時代から中世－」と題し6月10日（土）から9月3日（日）まで開催しました。膨大な面積の発掘調査が行われた寒河江市高瀬山遺跡では旧石器時代から中世までの遺構や遺物が検出されています。昨年は旧石器時代から縄文時代までの資料を展示しましたが、今回は6章構成とし全部で319点の土器や陶磁器、木製品・鉄製品・土製品・石製品等を展示しました。会期中に展示図録を刊行するとともに、2名の講師を招き、関連講座を開催しました。

第31回企画展は「山形県内の指定文化財－考古資料－」と題し9月9日（土）から12月3日（日）まで開催しました。山形県内の出土品で国宝・重要文化財、山形県・市町村指定となっている有形文化財（考古資料）を展示しましたが、指定文化財はそれぞれの地域の歴史を考える上で欠くことのできない歴史資料であると同時に美術品としても秀逸なものも多く、普段見ることができない資料を県民の皆さまに是非見ていただきたいという趣旨もありました。展示構成は第一章「旧石器時代」から第八章「室町時代」まで各時代の指定品を合わせて704点を展示しました。

企画展開催中考古学セミナー、企画展講演会などの関連企画を実施して理解・関心の向上に努めるとともに、総頁は101頁の展示図録を刊行しました。

企画展関連事業として第25期考古学セミナー「山形県の指定文化財と出土遺跡」を開講し、3回にわたり6名の講師陣から各時代の指定品と出土した遺跡について解説していただきました。

山形県文化財保護審議会委員の高桑弘美先生による「山形県の指定文化財－考古資料について－」と題する記念講演会では文化財保護制度の概要、研究成果を学術的な価値として評価し、指定することは後世に伝える手段であり、展示することが活用に繋がるというお話をお聞きすることができました。

コロナ禍が収まった結果、県内6年生の修学旅行による学校の利用は減少し、小学校16校、中学校1校、特別支援学校1校、大学2学、幼稚園等5園に留まりました。また、7月8日（土）～9月22日（金）には、2023「第3回 kid's 考古学新聞」の入賞作品の全国巡回展を昨年開催し、この間の入館者は1,199人となりました。今回も県内からの入賞はありませんでしたが、全国各地の小学生の作品等20点のパネルを展示しました。

当館の催し物で最も多くの参加者がある「赤ちゃんの手形をつくろう」は5類移行の前であったため感染対策をとった上で4月29日から5月7日（日）まで連続9日間開催しましたが、手形・足形合わせて673個に留まりました。その他の「体験事業・研修事業」もほぼ当初計画どおりに開催できましたが、参加人数は落ち込んだままとなっています。遺跡の旅は4年ぶりに開催でき「栃木県西南部の遺跡」を見学し、遺跡めぐりも春は遊佐町、秋は大崎市と予定どおり開催することができ、定員いっぱい参加者がありました。うきたむ学講座も再開し今期は2回の講座を開講できました。

末尾になりましたが、何かとご支援賜りました山形県観光文化スポーツ部博物館・文化財活用課、公益財団法人山形県埋蔵文化財センター、県内各市町教育委員会、東北芸術工科大学、米沢女子短期大学、うきたむ考古の会、山形考古学会、歴史公園管理組合等の皆様に深く感謝申し上げます。

令和6年3月31日

館長 渋谷孝雄

## 目 次

1. 施設概要	1
2. 開館後のあゆみ	3
3. 展示の概要	9
(1) 常設展示	
(2) 企画展示	
4. 教育普及活動	16
(1) 講演会・ギャラリートーク	
(2) 体験事業	
(3) 研修事業	
(4) 共催事業	
(5) 学校教育との連携	
(6) その他	
5. 資料の活用	16
(1) 写真利用	
(2) 刊行物一覧	
6. 入館者	17
(1) 令和5年度 月別入館者	
(2) 主な入館団体	
(3) 来館者アンケート	
7. 管理及び運営	19
(1) 組織・職員	
(2) 運営協議会	
8. 受贈図書	20

# 1. 施設概要

## (1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

## (2) 沿革

昭和 51 年度	第 6 次山形県総合開発計画及び第 2 次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示
昭和 56 年度	風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告
昭和 60 年度	第 7 次山形県総合開発計画及び第 3 次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け
昭和 61 年度	風土記の丘基本構想・計画を作成
平成 2 年度	考古資料館の基本・実施設計を作成
平成 3 年度	高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工
平成 4 年度	考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工 名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定
平成 5 年度	4 月 23 日考古資料館開館
令和元年度	考古資料館研修室、資料室、事務室 空調設備更新
令和 3 年度	考古資料館屋根改修工事
令和 4 年度	常設展示室、企画展示室、收藏庫の 空調設備改修工事

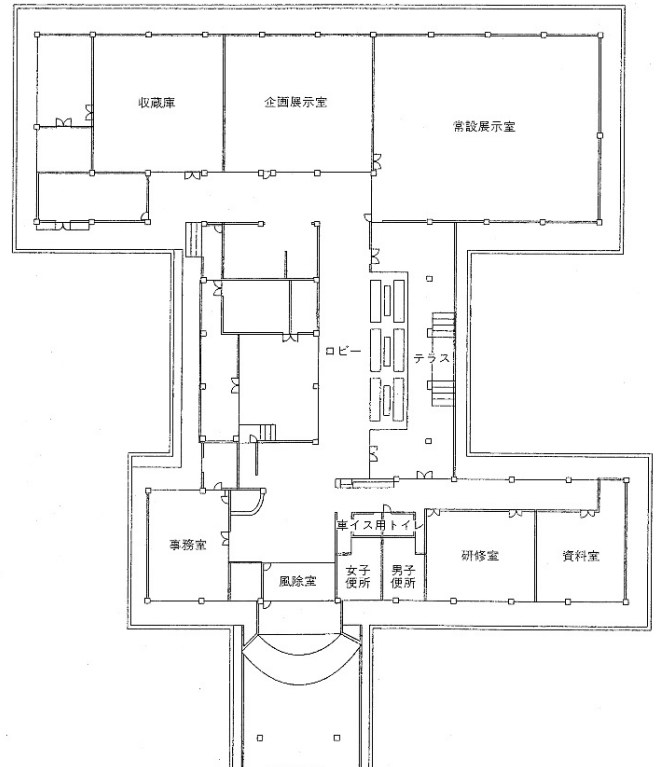
## (3) 施設

鉄筋コンクリート造平屋建て

敷地面積：7,000 m<sup>2</sup>

延床面積：1,358.24 m<sup>2</sup>

常設展示室	279.00 m <sup>2</sup>
企画展示室	129.37 m <sup>2</sup>
收藏庫（2 層）	129.37 m <sup>2</sup>
研修室	125.70 m <sup>2</sup>
事務室	67.50 m <sup>2</sup>
作業室・荷解室	51.75 m <sup>2</sup>
ロビー・ホール	336.85 m <sup>2</sup>
その他（機械室等）	238.70 m <sup>2</sup>



[山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図]

- (4) **所在地** 山形県東置賜郡高畠町大字安久津 2117  
JR 高畠駅よりタクシーで 15 分  
JR 高畠駅より自転車で 40 分  
※高畠駅にレンタサイクルがあり「まほろばの緑道」のサイクリング道がある
- (5) **開館時間** AM9:00～PM4:30 (入館は 4:00 まで)
- (6) **休館日** 月曜日、国民の祝日 (こどもの日と文化の日は無料開館)  
年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)  
大型連休中は、臨時開館の場合あり  
燻蒸作業のため臨時休館の場合あり
- (7) **入館料金** 一般 200 円 (150 円)、大学生 100 円 (70 円)、高校生以下無料  
( ) は 20 名以上の団体料金 (1 人につき)
- (8) **入館料の減免 次の基準により減免 (無料入館)**
1. こどもの日・文化の日・その他教育委員会が指定する日において、資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する
  2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、次の各号に該当する者とする
    - 1) 教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
    - 2) その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者※上記の入館料の減免を受けようとする者は、入館料減免申請書を考古資料館に提出すること
  - 3) 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳の交付を受けている者、並びにその付添い

## 2. 開館後のあゆみ

※過去10年分のみ記載

### 【企画展示】

年度	種別	展示テーマ	期間
H24	特別テーマ展	企画展示室リニューアル記念「押出遺跡の名宝」	4月1日(日)～5月31日(木)
	特別テーマ展	「やまがたの歴史を語る遺跡展2-古代の祭祀-」	6月1日(金)～9月23日(日)
	第20回企画展	「中世やまがたの城館-そこに城館がある理由-」	10月2日(火)～11月30日(金)
	テーマ展	「古代・中世の考古資料」	
25	特別テーマ展	やまがたの歴史を語る遺跡展3「古墳時代の集落」	6月8日(土)～9月22日(日)
	20周年記念企画展	「山形古代史発掘40年」	10月1日(火)～11月30日(土)
	テーマ展	「古代・中世の考古資料」	12月8日(日)～3月30日(日)
26	特別テーマ展	「押出遺跡の新資料」	6月14日(土)～9月24日(水)
	第22回企画展	「弥生時代の山形」	10月1日(水)～11月30日(日)
	テーマ展	「古代・中世の考古資料」	12月7日(日)～3月31日(火)
27	特別テーマ展	「災害と祈り」	6月6日(土)～8月5日(水)
	第23回企画展	「重要文化財 水木田遺跡展」	10月1日(木)～12月27日(日)
	町村合併60周年記念特別展	「たかはた美術館」展	8月8日(土)～9月20日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
28	特別テーマ展	「遺跡今昔物語-いせきこんじやくものがたり-」	6月11日(土)～9月11日(日)
	第24回企画展	「森と暮せば-縄文人の植物利用-」	9月17日(土)～12月4日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
29	特別テーマ展	「くらべてみよう今と昔～台所編～」	6月10日(土)～9月10日(日)
	第25回企画展	「木と生きる～弥生・古墳時代の木製品～」	9月16日(土)～12月3日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
30	特別テーマ展	「押出遺跡の6次調査と山形県内の縄文前期後半の世界」	6月9日(土)～9月9日(日)
	第26回企画展	「木は語る～古代から近世の木簡と木製品～」	9月15日(土)～12月2日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
R1	特別テーマ展	「花沢A遺跡と置賜の縄文時代中期後半の世界」	6月8日(土)～9月8日(日)
	第27回企画展	「縄文時代後期の山形」	9月14日(土)～12月1日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
2	第28回企画展	「水木田遺跡と縄文時代中期前半の山形」	9月12日(土)～12月6日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
3	特別テーマ展	「小国町の考古学」	6月12日(土)～9月5日(日)
	第29回企画展	「山形県の近世城郭と出土品」	9月11日(土)～12月5日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
4	特別テーマ展	「高瀬山の考古学Ⅰ-旧石器時代・縄文時代-」	6月11日(土)～9月4日(日)
	第30回企画展	「最上地域の縄文時代」	9月10日(土)～12月4日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
5	特別テーマ展	「高瀬山の考古学Ⅱ-弥生時代から中世-」	6月10日(土)～9月3日(日)
	第31回企画展	「山形県内の指定文化財-考古資料-」	9月9日(土)～12月3日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	

### 【講演会等】

P:パネリスト C:コーディネーター

年度	名称	講演・テーマ等・講師
H24	企画展記念講演会	「中世やまがたの城館」 伊藤清郎(山形大学教授)
	第14期考古学セミナー	「中世やまがたの城館を考える」 4回講座
		①「中世やまがたの城館の分布と変遷概要」 森谷 幸・「中世やまがたの城館の背景」 佐藤鎮雄
		②「中世城館の成立」 吉田 敏・「中世置賜の城館と館山城」 手塚 孝 ③「中世城館址から発見されるモノ」・「中世庄内の城館」 高桑 登 ④「中世最上(現村山・最上地方)の城館」 保角里志 「中世西村山の城館と左沢楯山城」 佐藤庄一
第VII期	①「たべる桜にみる桜、そして聖なる桜」 岩崎義信	

	うきたむ学講座	「いわゆる「金目マタギ」の春グマ猟ー雪崩地形とクマの習性した狩りー」草刈広一 ②「会津地域における弥生時代終末期から古墳出現期までの様相」福田秀夫 ③「置賜の伊達氏の支配構造」小林貴宏・「仏像からみた湯殿山参拝と行屋」宮本晶朗
	山形の 発掘調査検討会	基調報告「2012年県内の発掘の概要」竹田純子(県文化財保護推進課) 報告遺跡①押出遺跡(埋蔵文化財センター) ②馳上・西谷地b遺跡(埋蔵文化財センター) ③戸塚山古墳群(東北芸術工科大学) ④米沢館山城跡(米沢市教育委員会) ⑤土器の修復について(東北芸術工科大学)
25	企画展記念講演会	「山形県古代史発掘と文化財保護40年の成果」佐藤庄一
	第15期 考古学セミナー	「山形県古代史発掘と埋蔵文化財保護40年」5回講座 ①「山形県古代史発掘40年の意義」阿部明彦(山形県教育委員会) 「旧石器時代発掘調査の成果」渋谷孝雄(当館館長) ②「縄文時代前半期発掘調査の成果」菅原哲文(埋蔵文化財センター) 「縄文時代後半期発掘調査の成果」小林圭一(埋蔵文化財センター) ③「弥生時代発掘調査の成果」佐藤祐輔(仙台市地底の森ミュージアム) 「古墳時代発掘調査の成果」高橋 敏(埋蔵文化財センター) ④「奈良・平安時代発掘調査の成果」植松暁彦(埋蔵文化財センター) 「山形県埋蔵文化財センター20年の成果」黒坂雅人(埋蔵文化財センター) ⑤「鎌倉～江戸時代発掘調査の成果」高桑 登(埋蔵文化財センター) 「考古資料館20年の成果」佐藤鎮雄(当館前館長)
	第Ⅷ期 うきたむ学講座	①「細井平洲の第三次米沢下向と米沢」宮田直樹(米沢市教育委員会) 「白竜湖 変貌する泥炭湿原」渡部俊一(南陽8ミクラブ) ②「発掘成果から見た律令社会の成立ー刈田と置賜ー」鈴木 雅(蔵王町教育委員会) ③「東北地方の山岳信仰の特殊性」原 淳一郎(米沢女子短期大学) 「チョウセンアカンジミの来た道」永幡嘉之(写真家)
	考古資料検討会	基調報告「2013年県内の発掘の概要」竹田純子(県文化財保護・生涯学習課) 報告遺跡①日向洞窟西地区遺跡(東北芸術工科大学) ②元宿北遺跡(埋蔵文化財センター) ③台遺跡(長井市教育委員会) ④米沢館山城跡(米沢市教育委員会) 研究報告「酒田市飛島西海岸製塩遺跡」相原淳一(東北歴史博物館)
26	企画展記念講演会	「日本列島の弥生文化と南東北」石川日出志(明治大学教授)
	第16期 考古学セミナー	「弥生時代の山形を考える」4回講座 ①「山形県の弥生時代研究の歩み」渋谷孝雄(当館館長) 「日本の弥生時代概論と生産遺跡」秦 昭繁(当館職員) ②「仙台平野の弥生時代」太田昭夫(名取市教育委員会) 「山形県の弥生土器の変遷」佐藤祐輔(仙台市富沢遺跡保存館) ③「弥生時代の住居・墓・集落」押切智紀(山形県立博物館) 「新潟県北部の弥生時代」滝沢規朗(新潟県教育庁) ④「会津盆地の弥生時代」田中 敏(福島県立博物館) 「弥生時代の山形を考える」佐藤庄一(山形考古学会副会長)
	第Ⅸ期 うきたむ学講座	①「陸奥国の官衙を赤井遺跡・矢本横穴墓群からみる」佐藤敏幸(東松島市教育委員会) 「花粉からみた縄文時代の人為生態系と植物資源利用」吉川昌伸(古代の森研究所) ②「米沢盆地の横穴式古墳成立過程を考える」佐藤智幸(米沢市教育委員会) 「近代の教育活動としての育英事業」布施賢治(米沢女子短期大学) ③「米沢盆地の石材流通の概要」秦 昭繁(当館職員) 「関東地方の資源開発とその利用」栗島義明(埼玉県立歴史と民俗の博物館) 「秋田地域の石器・石材流通の実態」吉川耕太郎(秋田県立博物館) 「石器・アスファルトなどの分布から流通と集団関係を考える」岡村道雄(元文化庁)
	考古資料検討会	基調報告「2014年県内の発掘調査の概要」竹田純子(県文化財保護・生涯学習課) 報告遺跡①八幡一遺跡(埋蔵文化財センター) ②戸塚山古墳群M201号墳(米沢市教育委員会) ③米沢館山城跡(米沢市教育委員会) ④日向洞窟西地区遺跡(東北芸術工科大学)
27	企画展記念講演会	「水木田遺跡にみる縄文中期前半の世界」阿部明彦(埋蔵文化財センター)
	第17期 考古学セミナー	「縄文時代中期前葉から中葉の遺跡と遺物」3回講座 ①「山形県の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡の概要」渋谷孝雄(当館館長) 「置賜地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-台ノ上遺跡-」菊地政信(考古学協会) ②「村山地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西海淵遺跡-」菅原哲文(埋文センター) 「最上地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西ノ前遺跡-」黒坂雅人(埋文センター) ③「庄内地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西向遺跡-」須賀井新人(埋文センター) 「山形県の縄文時代中期前葉から中葉の石器」秦 昭繁(考古学研究者)

27	第Ⅹ期 うきたむ学講座	①「押出遺跡の調査成果について」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) 「押出遺跡における植物遺体」佐々木由香(パレオ・ラボ) 「福井県鳥浜貝塚について」小島秀彰(福井県若狭三方縄文博物館) 「富山県小竹貝塚について」町田賢一(富山県文化振興財団) 「押出遺跡における縄文前期遺跡との接触・交流」小林圭一(埋蔵文化財センター) ②「大谷地の地質と地形」阿子島 功(山形大学名誉教授) 「大谷地周辺に立地する縄文時代草創期の遺跡」長井謙治(東北芸術工科大学講師) ③「大谷地の生物(植物)」吉野智雄(前うきたむ風土記の丘考古資料館運営協議会会長) 「大谷地の歴史と生活」佐藤庄一(山形考古学会会長)
	考古資料検討会	基調報告「2015年県内の発掘調査の概要」 稲村圭一(県文化財保護・生涯学習課) 報告遺跡①酒町遺跡(長井市教育委員会) ②清水上遺跡(南陽市教育委員会) ③米沢館山城跡(米沢市教育委員会) ④押出遺跡(埋蔵文化財センター) ⑤日向洞窟西地区遺跡(東北芸術工科大学)
28	企画展記念講演会	「縄文人がつくったふるさとの森」 鈴木三男(東北大学名誉教授)
	第18期 考古学セミナー	「縄文時代の植物利用」 3回講座 ①「山形県内の縄文時代植物利用の概要」 渋谷孝雄(当館館長) 「押出遺跡の植物利用」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) ②「小山崎遺跡の植物利用」大川貴弘(遊佐町役場) 「高瀬山遺跡の水場遺構と植物利用」小林圭一(埋蔵文化財センター) ③「縄文時代の植生史と植物利用」吉川昌伸(古代の森研究舎) 「出土遺体にみる縄文時代の植物利用」吉川純子(古代の森研究舎)
	第Ⅺ期 うきたむ学講座	(特別講座) 「野仏に秘められたものPⅡ」平吹利教(白鷹町文化財保護審議会会長) 「塩田行屋の仏像とその由来」宮本晶朗(文化財マネージメント) ①「伊達氏のふるさと梁川城」今野賀章(伊達市教育委員会) 「伊達時代の米沢一館山城跡を中心に」宮田直樹(米沢市教育委員会) ②「置賜の窯跡」高橋 拓(飯豊町教育委員会) 「江戸前期の地方窯業」渡辺芳郎(鹿児島大学) ③「置賜の民俗」阿部宇洋(農村文化研究所) 「川西町の石造物」伊藤義隆(川西町文化財保護協会)
	山形の 発掘調査検討会	基調報告「2016年県内の発掘調査の概要」 竹田純子(県文化財・生涯学習課) 報告遺跡①壇山古窯群(埋蔵文化財センター) ②八幡西遺跡(埋蔵文化財センター) ③馳上遺跡8次(埋蔵文化財センター) ④大南遺跡(米沢市教育委員会) ⑤日向洞窟西地区遺跡(東北芸術工科大学) ⑥日向洞窟遺跡範囲確認調査(高島町教育委員会)
29	企画展記念講演会	「実験で検証する弥生・古墳時代の木製品」 山田昌久(首都大学東京教授)
	第19期 考古学セミナー	「弥生・古墳時代の木製品」 3回講座 ①「展示資料解説」伊藤純子(当館職員) 「弥生・古墳時代の木製品の概要」渋谷孝雄(当館館長) ②「仙台平野の弥生時代木製品が出土した遺跡」荒井 格(仙台市教育委員会) 「仙台平野の弥生時代の木製品」 同上 ③「服部・藤治屋敷遺跡の調査と古墳時代木製品」高桑弘美(埋蔵文化財センター) 「板橋2遺跡の調査と古墳時代木製品」齋藤 健(埋蔵文化財センター)
	第Ⅻ期 うきたむ学講座	(特別講座) 「置賜の前期古墳研究の課題ー長岡地区古墳群の成立と展開をめぐるー」 佐藤鎮雄(前山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館長) 「南陽市長岡南森調査研究報告ー南森古墳推定遺跡測量調査を終えてー」 角田朋行(南陽市教育委員会) ①「置賜で活躍した仏師たちー白鷹町の調査事例からー」 石井紀子(白鷹町地域おこし協力隊) 「置賜の仏像と醍醐寺の関係ー高島町・大聖寺を中心にー」 石井智也(東北古典彫刻修復研究所) ②「地域の歴史をつくるー『清水町の歴史とくらし』の刊行からー」佐藤庄一 ③「米沢産物集と動物たち」鳥海隼夫 「近世後期の米沢の文学」石黒志保(市立米沢図書館)
	山形の 発掘調査検討会	基調報告「2017年県内の発掘調査の概要」 稲村圭一(県文化財保護・生涯学習課) 報告遺跡①八幡西遺跡(埋蔵文化財センター) ②花沢 a 遺跡(米沢市教育委員会) ③大南遺跡(米沢市教育委員会) ④裏山Ⅰ遺跡(飯豊町教育委員会) ⑤日向洞窟遺跡(東北芸術工科大学)

30	特別テーマ展 関連講座	①「押出遺跡6次調査の成果」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) 「川内袋遺跡の調査成果」齊藤主税(埋蔵文化財センター) ②「高瀬山遺跡の調査成果」齊藤主税(埋蔵文化財センター) 「山形県内の縄文時代前期後半の土器様相」小林圭一(埋蔵文化財センター) ③「山形県内の縄文時代前期後半の石器作成と組成」秦 昭繁(考古学研究者) 「山形県内の縄文時代前期後半の集落と暮らし」菅原哲文(埋蔵文化財センター)
30	企画展記念講演会	「出土文字資料と古代出羽国」 十川陽一(山形大学人文社会科学部准教授) 「古代から近世の木簡と木製品」 3回講座
	第20期 考古学セミナー	①「古代の木製品—建築部材・祈り・文字—」佐藤庄一(山形考古学会会長) 「大在家遺跡の木製品と文字資料」井田秀和(元高島町教育委員会) ②「上高田遺跡の木製品と文字資料」齋藤 健(埋蔵文化財センター) 「中近世の木製品と文字資料」高桑 登(埋蔵文化財センター) ③「馳上遺跡の木製品と文字資料」渡辺和行(埋蔵文化財センター) 「古志田東遺跡の木製品と文字資料」手塚 孝(米沢市教育委員会)
	第 XIII 期 うきたむ学講座	(特別講座)「高島町の石造文化を探る—中世から近現代まで—」 加藤和徳(日本民俗学会会員・日本石仏協会理事) 「下張りをはがす」 小林貴宏(高島町教育委員会) ①「米沢藩の軍制改革—西洋砲術導入をめぐる諸問題について—」 布施賢治(米沢女子短期大学) 「東北から見た戊辰戦争」 渡部幸雄 ②「高島町周辺の鉱山と鉱物」 五十公野裕也(山形大学理学部) ③「やまがたの無形文化財 深山和紙～守り伝えるための地域づくり～」 高橋信博(地域づくりプランナー) 「白鷹紬～生業(なりわい)について～」 守谷英一(東北芸術工科大学)
	考古資料検討会	基調報告「2018年県内の発掘調査の概要」 岩崎恒平(県文化財・生涯学習課) 報告遺跡①大南遺跡(米沢市教育委員会) ②南森遺跡(南陽市教育委員会) ③上屋地B遺跡(飯豊町教育委員会) ④日向洞窟遺跡範囲確認調査(高島町教育委員会) ⑤日向洞窟遺跡とその周辺(日向洞窟遺跡調査団)
R1	特別テーマ展 関連講座	①「高島町の縄文時代中期後葉・末葉の遺跡」井田秀和(高島町教育委員会) 「米沢市内の縄文時代中期後半の遺跡」手塚 孝(日本考古学協会) ②「長井市の縄文時代中期後葉の遺跡」岩崎義信(長井市教育委員会) 「小国町の縄文時代中期後半の遺跡」阿部明彦(山形考古学会副会長) ③「花沢A遺跡第3次発掘調査について」佐藤智幸(米沢市教育委員会) 「山形県内の縄文時代中期後半の炉と土器の変遷」菅原哲文(埋蔵文化財センター)
	企画展記念講演会	「山形の縄文時代後期について」 小林圭一(埋蔵文化財センター)
	第21期 考古学セミナー	「縄文時代後期の山形」 3回講座 ①「置賜の縄文時代後期の遺跡」手塚 孝(日本考古学協会) 「村山の縄文時代後期の遺跡」植松暁彦(埋蔵文化財センター) ②「最上の縄文時代後期の遺跡」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) 「庄内の縄文時代後期の遺跡」渋谷孝雄(当館館長) ③「縄文時代後期の住居と集落」菅原哲文(埋蔵文化財センター) 「縄文時代後期の墓—秋田を中心に—」小林 克(三内丸山遺跡発掘調査委員会委員長)
	第 XIV 期 うきたむ学講座	(特別講座)シンポジウム「溝で囲まれた遺跡にせまる～大南遺跡～」 C:吉田 欽 ・「大南遺跡発掘調査の成果」佐藤 公保(米沢市教育委員会) ・「大南遺跡の年代測定結果」門叶 冬樹(山形大学) ・「大南遺跡出土の陶磁器」山口 博之(米沢女子短期大学) ・「大南遺跡出土の神像」山下 立(滋賀県立安土城考古博物館) ①「伊佐早謙が残した林泉文庫について」新宮 学(山形大学人文社会科学部) 「戦国末期から近世前期の土豪と村落」渡部眞治(徳太郎文庫) ②「鉱山と鉱床の形成過程～蔵王山の下に金が眠る!？」中島和夫(山形大学名誉教授) ③「長井市の仏像・神像について」長坂一郎(東北芸術工科大学) 「長井市史編纂事業について」岩崎義信(長井市教育委員会)
	特別講演会	「旧石器時代の丸木舟製作と航海の記録」 山田昌久(首都大学東京特任教授)
考古資料検討会	基調報告「2019年県内の発掘調査の概要」 岩崎恒平(県文化財・生涯学習課) 報告遺跡①桐ノ木遺跡(米沢市教育委員会) ②南森遺跡(南陽市教育委員会) ③日向洞窟遺跡範囲確認調査(高島町教育委員会)	

R2	企画展記念講演会	「山形県の縄文時代中期前半の文化動態」 菅原哲文(多賀城市教育委員会)
	館長講座	「小山崎遺跡を知ろう」 3回講座
	第22期 考古学セミナー	「水木田遺跡と縄文時代中期前半の山形」 3回講座 ①「重要文化財 水木田遺跡出土品について」阿部明彦(山形考古学会副会長) 「庄内地域の縄文時代中期前半について」須賀井新人(埋蔵文化財センター) ②「最上地域の縄文時代中期前半について」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) 「村山地域の縄文時代中期前半について」渋谷孝雄(当館館長) ③「東置賜地域の縄文時代中期前半について」菊地政信(日本考古学協会会員) 「西置賜地域の縄文時代中期前半について」岩崎義信(長井市教育委員会)
3	企画展記念講演会	「近世城郭と石垣」 北野博司(東北芸術工科大学教授)
	館長講座	「小国町の考古学」 2回講座
	第23期 考古学セミナー	「発掘調査でわかった山形県内の近世城郭と出土遺物」 3回講座 ①「米沢城の発掘調査と出土遺物」 菊地政信(米沢市教育委員会) 「舘山城の発掘調査と出土遺物」 佐藤公保(米沢市教育委員会) ②「山形城の発掘調査と出土遺物」 齋藤仁(山形市) ③「鶴ヶ岡城の発掘調査と出土遺物」 菅原哲文(埋蔵文化財センター) 「亀ヶ崎城の発掘調査と出土遺物」 高桑登(千葉県教育振興財団)
4	企画展記念講演会	「最上地域の縄文時代」 阿部明彦(山形考古学会会長)
	館長講座	「高瀬山の考古学Ⅰ」 3回講座
	第24期 考古学セミナー	「最上地域の縄文時代」 3回講座 ①「最上地域の縄文時代早期・前期の遺構と遺物」 渋谷孝雄(当館館長) 「最上地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺構と遺物」 菅原哲文(埋蔵文化財センター) ②「最上地域の縄文時代中期後葉の遺物と遺構」 水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) 「最上地域の縄文時代後期の遺物と遺構」 水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) ③「最上地域の縄文時代晩期の遺物と遺構」 小林圭一(埋蔵文化財センター) 「縄文時代の緑色石英製玉とその分布」 三澤裕之(秀明大学教授)
	考古資料検討会	基調報告「2022年度県内の発掘調査の概要」 竹田純子(県文化振興・文化財活用課) 報告遺跡 ①台ノ上遺跡 佐藤公保(米沢市教育委員会) ②南森遺跡 齊藤紘輝(南陽市教育委員会) ③大在家遺跡 水口哲(高島町教育委員会) 研究報告「層序学・堆積学による前期旧石器出土の遺跡認識—飯豊町上屋地B遺跡を主に—」 秦昭繁(山形考古学会)
5	企画展記念講演会	「山形県の指定文化財—考古資料—について」 高桑弘美(山形県文化財保護審議会委員)
	特別テーマ展 関連講座	「高瀬山の考古学Ⅱ」 2回講座 ①「弥生時代から古墳時代の高瀬山遺跡」 植松暁彦(埋蔵文化財センター) ②「古代から中世の高瀬山遺跡」 渡辺和行(埋蔵文化財センター)
	第25期 考古学セミナー	「山形県の指定文化財と出土遺跡」 3回講座 ①「旧石器時代・縄文時代草創期の指定文化財と関連遺跡」 渋谷孝雄(当館館長) 「縄文時代の指定文化財と関連遺跡」 小林圭一(埋蔵文化財センター) ②「弥生時代の指定文化財と関連遺跡」 菅原哲文(埋蔵文化財センター) 「古墳時代の指定文化財と関連遺跡」 草野潤平(埋蔵文化財センター) ③「奈良・平安時代の指定文化財と関連遺跡」 植松暁彦(埋蔵文化財センター) 「鎌倉・室町時代の指定文化財と関連遺跡」 高桑登(埋蔵文化財センター)
	考古資料検討会	基調報告「2023年度県内発掘調査の概要」 稲村圭一(県博物館・文化財活用課) 報告遺跡 ①舘山城跡 佐藤公保(米沢市教育委員会) ②南森遺跡 齊藤紘輝(南陽市教育委員会) ③大在家遺跡 水口哲(高島町教育委員会) ④中洗2遺跡 齋藤健(埋蔵文化財センター) ⑤材木遺跡 三澤裕之(山形考古学会)
	第XV期 うきたむ学講座	①「南陽市のぶどう栽培のあゆみ」 佐藤庄一(山形考古学会顧問) 竹田耕平(福島大学農学部非常勤講師) 「南陽市のぶどう栽培の将来」 結城秀人(榊結城酒店代表取締役社長) ②「最上川舟運と長井—絵図と水帳の視点から—」 岩崎義信(長井市史編纂専門員) 「米沢藩の番所制度と旅人—近世が260年続いた要因の一端を探る—」 原淳一郎(米沢女子短期大学教授)

(敬称略)

## 【体験教室】

- ・縄文土器づくり（平成 5～23 年度）
- ・古代食作り（平成 6～17 年度）
- ・弓矢づくり（平成 7・13 年度～）
- ・縄文土偶づくり（平成 9 年度）
- ・縄文釣り針づくり（平成 10 年度）
- ・赤ちゃん手形づくり（平成 13 年度～）
- ・ガラス玉づくり（平成 16 年度～）
- ・古代の編布づくり（平成 8～22 年度・平成 28 年度～）
- ・スクールオブジョウモン（平成 28 年度～）
- ・勾玉づくり（平成 6・10 年度～）
- ・縄文住居づくり（平成 7 年度）
- ・夏休み親子遺跡探検（平成 8～9 年度）
- ・少年少女考古学教室（平成 9 年度）
- ・縄文祭り具づくり（平成 10 年度）
- ・柿渋染めづくり（平成 16 年度）
- ・古代風ブレスレットづくり（平成 26 年度～）
- ・大人の自由研究（平成 29 年～）

### [当館事業で行っている体験メニュー一覧] ※令和 5 年現在

名 称	内 容	所要時間	人数(最大)	参加費
勾玉づくり	滑石というやわらかい石でつくります	60～90 分	20 名	200 円
弓矢づくり	竹を利用してつくります	60～90 分	10 名	200 円
石器づくり	頁岩という石を利用して石器をつくります	30～60 分	10 名	200 円
古代風ブレスレットづくり	麻紐を編んでオリジナルのブレスレットをつくります	30～60 分	20 名	200 円
コースターをつくろう	縄文時代から続くアンギン台を使う方法やミニ機織り機を使う方法でコースターを作ります	60～90 分	20 名	200 円
ガラス玉をつくろう	古墳時代のガラス玉の加工方法の一つ「巻きつけ技法」の体験をします。	90 分	20 名	1,000 円

### [団体向け体験メニュー一覧] ※令和 5 年現在

名 称	内 容	所要時間	人数(最大)	参加費(減免後)
火おこし	「ひもぎり式」という、摩擦を利用した古代以来の方法で火をおこします	10～30 分	30 名	無料
勾玉づくり	滑石というやわらかい石でつくります	60～90 分	100 名	100 円 150 円(簡易版)
弓矢射ち	的に向かって弓矢を射つ体験をします。	10～30 分	30 名	無料
古代風ブレスレットづくり	麻紐を編んでオリジナルのブレスレットをつくります	30～60 分	30 名	100 円
コースターをつくろう	縄文時代から続くアンギン台を使う方法やミニ機織り機を使う方法でコースターを作ります	60～90 分	10 名	100 円
ジュズダマでストラップをつくろう	縄文時代から栽培されてきた、ジュズダマという植物の種子を使ってオリジナルストラップを作ります	30 分	20 名	50 円

※その他、個人又はグループで各種体験を行うこともできます。(お電話による事前予約が必要です)

## 【うきたむ縄文まつり】

- ・縄文月見の宴（平成 5～9 年度）
- ・縄文まつり（平成 10～19・23～24 年度）

## 【遺跡めぐり・遺跡の旅】

- ・春・秋の遺跡めぐり（平成 8 年度～）
- ・みる・きく・ふれる遺跡の旅（平成 10 年度～）

### 3. 展示の概要

#### (1) 常設展示

置賜地方を中心に県内各遺跡の出土資料を展示し、旧石器時代から古墳時代までを通史的に理解することができるような構成としている。

ロビー展示では、「置賜のあけぼの」をテーマとし、飯豊町の上屋地遺跡や小国町の湯の花遺跡などから出土した旧石器時代の資料を展示している。また、槍の復元品により、使用例を示している。

常設展示室では、「大谷地をかこむ遺跡」「縄文時代のタイムカプセル」「古墳を造る人々」をテーマとしている。

「大谷地をかこむ遺跡」では、高畠町の日向洞窟（国指定史跡）から出土した縄文時代草創期の微隆起線文土器をはじめ、縄文草創期から前期の資料を展示している。

「縄文時代のタイムカプセル」では、高畠町の押出遺跡の資料を展示している。展示品には、重要文化財に指定された彩漆土器（レプリカ）やクッキー状炭化物などがある。湿地帯に位置する遺跡で、植物由来の遺物が良好な状態で発見されており、木製品なども展示している。

「古墳を造る人々」では、弥生時代から古墳時代の展示を行っている。萩生田遺跡（南陽市）から出土した石包丁や甗などの古墳時代の土器、お花山古墳（山形市）から出土した鏡・勾玉・ガラス玉などを展示している。

企画展示室では、企画展示以外の期間は、「古墳時代から中世の考古資料」として、常設展示に続く通史的内容の展示を行っている。「古墳時代の暮らし」「各地にひろがる須恵器生産」「中世の人びとと信仰」をテーマとし、古代の役所などで使用されていたと考えられる瓦や山形県の指定文化財である円面硯、中世の信仰に関わる一字一石経・板碑などを紹介している。



## (2) 企画展示

### ① 特別テーマ展『高瀬山の考古学Ⅱ—弥生時代から中世—』

6月10日(土)～9月3日(日)

膨大な面積の発掘調査が行われた寒河江市高瀬山遺跡では旧石器時代から中世までの遺構や遺物が検出されている。昨年は「高瀬山の考古学Ⅰ—旧石器時代・縄文時代」として、348点の石器や土器などを展示した。今回の「高瀬山の考古学Ⅱ—弥生時代から中世—」は6章構成とし全部で319点の土器や陶磁器、木製品・鉄製品・土製品・石製品等を展示した。

序章では高瀬山遺跡の調査経過と各調査区の位置を表と図を使って説明した。

第1章「弥生・古墳時代の高瀬山」では1期地区で出土した高瀬山遺跡では唯一の弥生時代中期の1本線で文様を描く円田式の土器を展示した。古墳時代では1期、HO、寒河江市教委調査のチェリーパーク地区の捨て場や竪穴住居跡、土坑から出土した前期の土器を展示した。高坏や器台、壺、甕、甗などがある。第1章の展示数は37点である。

第2章は「奈良時代の高瀬山」では奈良時代を遡る可能性のある高瀬山の歴史時代ではもっとも古い高瀬山K遺跡から出土した土器を、続いて1期とSA区の竪穴住居跡の8世紀第3四半期の竪穴住居跡から出土した土器を展示した。8世紀第4四半期では1期、2期、SA調査区の竪穴住居跡の土器を展示した。第2章の展示数は85点である。

第3章「平安時代の高瀬山」では2期、SA区の9世紀第1四半期の竪穴住居跡の土器を、続く第2・3四半期ではHO区及び2期の竪穴住居から出土した土器を展示した第3章の展示数は95点である。

第4章 高瀬山遺跡の墨書・刻書土器では高瀬山遺跡から出土した奈良～平安時代の墨書土器、刻書土器を展示した。第4章の展示数は33点である。

第5章 高瀬山遺跡の瓦・陶硯・金属製品・砥石等では高瀬山遺跡から出土した瓦、陶硯、紡錘車、高瀬山から出土した鉄製品と・砥石を展示した。第5章の展示数は40点である。

第6章 高瀬山遺跡の奈良・平安時代の木製品、中世の陶磁器・かわらけ、木製品を展示した。第6章の展示数は29点である。

会期中に総頁59頁の展示図録を刊行した。

### ② 第31回企画展『山形県内の指定文化財—考古資料—』

9月9日(土)～12月3日(日)

山形県内の出土品で国宝・重要文化財、山形県・市町村指定となっている有形文化財(考古資料)を展示している。指定文化財はそれぞれの地域の歴史を考える上で欠くことのできない歴史資料であると同時に美術品としても秀逸なものが多い。また、常時公開されているものは少なく、普段見ることができない資料を県民の皆さまに是非見ていただきたいということが開催の趣旨である。

展示構成は以下のとおり。

第1章「旧石器時代」新庄市東山遺跡出土品(新庄市指定)、新庄市乱馬堂遺跡出土品(新庄市指定)の石器を展示している。展示数は108点。

第2章「縄文時代」とし、前期では米沢市一ノ坂遺跡出土遺物(米沢市指定)、高畠町押出遺跡出土彩漆土器附彩漆土器残欠(重要文化財・国所有)、押出遺跡出土品(重要文化財・山形県所有)を、中期では舟形町西ノ前遺跡出土の国宝・縄文の女神(山形県所有のレプリカ)、山形県水木田遺跡出土品

(重要文化財・山形県所有)、大蔵村白須賀遺跡出土の注口土器(県指定・山形大学所有)、大江町橋上遺跡出土の大珠(大江町指定)を、後期では村山市宮の前遺跡出土人体装飾付土器(県指定・山形県所有の写真)、米沢市竹井境土偶(米沢市指定)を、晩期では真室川町釜淵遺跡出土土偶(重要文化財のレプリカ山形県立博物館所有)、鶴岡市玉川遺跡出土硬玉類(県指定・致道博物館所有他)、新庄市宮内遺跡出土品(新庄市指定)、酒田市黒森堀割基盤層発掘石器土器(酒田市指定)を展示している。押出遺跡の彩漆土器は2週間に1回の展示替えを行い、会期中に6点を展示し、木製品等は会期前半に11点、後半に13点を展示する予定。展示数は展示替も含めて368点。

第3章「弥生時代」とし、大蔵村上竹野遺跡出土弥生式土器(県指定、・接引寺所有(新庄市ふるさと歴史センター展示)、大蔵村上竹野遺跡出土弥生土器(県指定・山形大学所有)、酒田市生石2遺跡出土弥生土器(県指定・山形県所有)、寒河江市石田遺跡出土弥生土器(寒河江市指定)を展示している。展示数は19点。

第4章「古墳時代」とし、山形市菅沢2号墳出土埴輪(県指定・山形市所有(10月11日からの展示)、山形市お花山古墳出土品(県指定・山形県所有)、尾花沢市上柳渡戸八幡山出土品(県指定・山形大学所有)を展示している。展示数は98点。

第5章「奈良時代」では八幡堂遺跡出土紡錘車・紡錘杵・火鑽臼(米沢市指定)、米沢市西町田下遺跡出土円面硯(県指定・山形県所有(当館展示))を展示している。展示数は7点。

第6章「平安時代」では米沢市大浦B遺跡出土漆紙文書(米沢市指定(写真展示)、酒田市俵田遺跡祭祀遺構出土品附木製品残欠一括(県指定・山形県所有)、米沢市古志田東遺跡出土木製品類(米沢市指定)、酒田市城輪柵跡出土品(酒田市指定)、酒田市堂の前遺跡出土斗、肘木(酒田市指定)、酒田市楯ノ腰経塚出土中世陶器壺・十文字叩壺(酒田市指定)を展示している。展示数は69点。

第7章「鎌倉時代」では寒河江市高瀬山経塚出土品(寒河江市指定)、鶴岡市執行坂窯跡出土中世陶器(鶴岡市指定)、天童市高野坊遺跡出土墨書礫(天童市指定)、遊佐町金俣経塚出土品(遊佐町指定)を展示している。展示数は20点。

第8章「室町時代」では米沢市大南遺跡出土木製品(米沢市指定)を展示している。展示数は15点。

企画展開催中考古学セミナー、企画展講演会などの関連企画を実施して理解・関心の向上に努めるとともに、展示図録を刊行した。総頁は101頁。

## 展示の様子

特別テーマ展「高瀬山の考古学Ⅰ」展示の様子



## 4. 教育普及活動

### (1) 講演会・ギャラリートーク

#### ① 企画展記念講演会

11月12日(日) 受講者10名

演題「山形県の指定文化財—考古資料—について」

山形県文化財保護審議会委員

高桑 弘美 氏

#### ② ギャラリートーク

今年度は実施しなかった。



↑ 赤ちゃん手形会場の様子

### (2) 体験事業

#### ① 赤ちゃんの手形をつくろう

4月29日(土)～5月7日(月) 手形・足形個数673個

縄文時代の遺跡から出土した子どもの手形付き土製品にちなんだ催しである。今年度は、ゴールデンウィークに9日間行った。

#### ② 勾玉・弓矢・石器をつくろう

5月27日(土)・7月8日(土)・11月3日(木・祝)

参加者 計32名

勾玉は滑石、弓矢は竹を加工して作る体験を行った。

石器作りは、頁岩という石を使って加工した。

#### ③ ガラス玉をつくろう

6月10日(土)・11月25日(土) 参加者 計17組

ガラスの加工方法のひとつ「巻き付け技法」でのガラス玉作りを行った。

#### ④ コースターをつくろう

6月17日(土)・12月2日(土) 参加者 計7名

ミニ機織り機を使う方法で、カラムシ(青苧)からとった繊維を使ってコースターを作成した。

#### ⑤ 古代風ブレスレットをつくろう

6月17日(土)・12月2日(土) 参加者 計7名

古代から人々の生活で使われてきた「麻」の紐を編んでブレスレットを作成した。

#### ⑥ 大人の自由研究1「カラムシから繊維を取ろう」

7月15日(土) 参加者 計3名

縄文時代から衣服等の繊維に使われてきた、カラムシから実際に繊維を取る体験。

#### ⑦ 大人の自由研究2「鮭の塩引きをつくろう」

11月26日(日)・12月3日(日)・12月10日(日) 参加者 計21組

縄文時代から食されたとされる鮭を使った塩引きを調理。

※今年度も「スクール・オブ・ジョウモン」は開催しなかった。

### (3) 研修事業

#### 〈講座研修〉

##### ① 特別テーマ展関連講座 受講者 延べ14名

【第1回】 7月2日(日) 受講者5名

「弥生時代から古墳時代の高瀬山遺跡」(公財)山形県埋蔵文化財センター 植松 暁彦 氏

【第2回】 7月9日(日) 受講者9名

「古代から中世の高瀬山遺跡」(公財)山形県埋蔵文化財センター 渡辺 和行 氏

##### ② 第25期考古学セミナー『山形県の指定文化財と出土遺跡』 受講者 延べ55名

【第1回】 9月24日(日) 受講者22名

「旧石器時代・縄文時代草創期の指定文化財と関連遺跡」

当館館長 渋谷 孝雄

「縄文時代の指定文化財と関連遺跡」

(公財)山形県埋蔵文化財センター

小林 圭一 氏

【第2回】 10月1日(日) 受講者19名

「弥生時代の指定文化財と関連遺跡」

(公財)山形県埋蔵文化財センター

菅原 哲文 氏

「古墳時代の指定文化財と関連遺跡」

(公財)山形県埋蔵文化財センター

草野 潤平 氏

【第3回】 10月8日(日) 受講者14名

「奈良・平安時代の指定文化財と関連遺跡」

(公財)山形県埋蔵文化財センター

植松 暁彦 氏

「鎌倉・室町時代の指定文化財と関連遺跡」

(公財)山形県埋蔵文化財センター

高 桑 登 氏

#### 〈野外研修〉

##### ① 春の遺跡めぐり

5月28日(日) 参加者26名

山形県遊佐町

(三崎山公園→水林下遺跡→大物忌神社吹浦口の宮→吹浦遺跡→小山崎遺跡→大楯遺跡→杉沢A遺跡→遊佐町埋蔵文化財調査室→旧青山本邸)

##### ② みる・きく・ふれる遺跡の旅

6月24日(土)～6月25日(日) 参加者10名

「栃木県中南部をめぐる旅」 案内: 芹澤 清八 氏、山口 耕一 氏、伊沢 加奈子 氏

(足利駅→足利学校→鏝阿寺本堂→藤本観音山古墳→佐野市郷土博物館→唐沢山城跡→おおひら歴史民俗資料館→星野遺跡→(宿泊)→寺野東遺跡→下野国庁跡・同資料館→しもつけ風土記の丘考古資料館→下野国分寺・国分尼寺跡→甲塚・オトカ塚古墳→国史跡摩利支天塚・琵琶塚古墳資料館→摩利支天塚・琵琶塚古墳→吾妻古墳→壬生町歴史民俗資料館→愛宕塚・車塚・牛塚古墳→下野薬師寺及び歴史館)

##### ③ 秋の遺跡めぐり

11月21日(土) 参加者19名

宮城県大崎市 案内：小野 亜矢 氏

(山畑横穴古墳群→田尻総合支所→木戸瓦窯跡→北小松遺跡→新田柵跡→宮沢遺跡→大崎市  
出土文化財管理センター→名生館官衙遺跡→道の駅三本木やまなみ)

#### (4) 共催事業

##### ① 考古資料検討会 共催：山形考古学会

令和6年2月10日(土) 13:00～16:30 参加者26名

基調報告「2023年県内の発掘調査の概要」

山形県観光文化スポーツ部 博物館・文化財活用課 稲村 圭一 氏

報告遺跡「館山城跡」 米沢市教育委員会 佐藤 公保 氏

「南森遺跡6次調査」 南陽市教育委員会 斉藤 紘輝 氏

「大在家遺跡23次調査」 高島町社会教育課 水口 哲 氏

「中洗2遺跡」 (公財)山形県埋蔵文化財センター 齋藤 健 氏

「材木遺跡」 山形考古学会会員 三澤 裕之 氏

##### ② 第XV期うきたむ学講座

1回目 令和6年2月4日(日) 当館研修室 参加者7名

講義内容 「南陽市のぶどう栽培の歩み」 佐藤 庄一氏(山形考古学会顧問)

竹田 耕平氏(福島大学農学部非常勤講師)

「南陽市のぶどう栽培の将来」 結城 秀人氏(㈱結城酒店代表取締役社長)

2回目 令和6年3月3日(日) 当館研修室 参加者13名

講義内容 「最上川舟運と長井一絵図と水帳の視点から」 岩崎 義信氏(長井市史編纂専門員)

「米沢藩の番所制度と旅人—近世が260年続いた要因の一端を探る—」

原 淳一郎氏(米沢女子短期大学教授)

#### (5) 学校教育との連携

##### ① 学校団体等の入館

学校団体等の入館希望があった場合、減免申請書とともに利用打合せ書の提出をいただくこととしている。来館の目的・利用に際しての要望等を事前に把握することで、各学校のニーズに合わせた内容や効率的な時間設定を行うためである。

館内や隣接する歴史公園の見学と、体験学習(勾玉づくり・弓矢づくり・火おこし等)を組み合わせた内容を希望する学校が多い。放課後クラブ活動や文化祭、PTA行事での利用もあり、各学校に赴く出前講座の対応も行っている。

今年度も、県内を修学旅行先とした小学校の来館はあったが、新型コロナウイルスへの規制が緩和された影響もあってか、昨年度に比べると少なかった。

〈今年度実績〉小学校16校 中学校1校 特別支援学校1校 大学2学

##### ② 学校以外との連携

学童クラブとの連携1件、保育園・認定こども園との連携5件、公民館との連携1件、その他6件

## (6) その他

### ①調査支援・協力・相談

報告書作成支援 1 件 (日向洞窟西地区)

展示支援 1 件 (小国町歴史民俗資料館)

### ②資料調査 7 件 13 名

6 月 8 日 東北大学大学院生他 計 2 名

6 月 27 日 長井市職員 計 2 名

10 月 20 日 東北歴史博物館他 計 2 名

10 月 26 日・27 日 北海道大学大学院生 1 名

10 月 27 日 愛知学院大学職員 1 名

11 月 2 日 東北歴史博物館職員 計 3 名

11 月 15 日 山形大学職員 帝京大学職員各 1 名 合計 2 名

### ③ラジオ出演

9 月 22 日 エフエムNCV「おきたまの足跡」 館長

## 5. 資料の活用

### (1) 写真利用

利用資料	利用目的（印刷物等の名称）	利用者（発行者）	発行日など
押出遺跡出土 炭化食品 （クッキー状炭化物）	第26回「図書館を使った調べる学習コンクール」入賞作品『アクって悪者？～アクの正体を探れ！～』	公益財団法人図書館振興財団	令和5年6月中旬
縄文カレンダー イラスト（当館所蔵）	『現代食文化論』	建帛社	令和5年11月1日
押出遺跡出土 炭化食品 （クッキー状炭化物）	『新しい歴史教科書 中学校社会』	自由社	令和6年度
押出遺跡出土 炭化食品 （クッキー状炭化物） 押出遺跡出土 彩漆土器	月刊誌『歴史人』7月号	ABCアーク	令和5年6月6日
押出遺跡出土 炭化食品 （クッキー状炭化物）	「函館歴史ロマン探訪5 縄文からのメッセージ！」（テレビ番組）	HBCフレックス	令和5年10月29日放送
下槇遺跡出土子持ち勾玉 下槇遺跡出土琴柱型石製品	『未来へつなぐ河北のあゆみ』	河北町	令和6年10月1日
押出遺跡出土 炭化食品 （クッキー状炭化物）	『社会科資料集6年』	青葉図書	令和6年4月
押出遺跡出土彩漆土器（モノクロ写真）	『月刊 文化財』令和5年8月号	第一法規	令和5年7月18日
お花山古墳出土 乳文鏡	「銅鏡」（『後期古墳編年を再考するⅠ～交差編年の手がかかり～』	島根大学法文学部准教授 岩本崇（中国四国前方後円墳研究会発行）	令和5年12月
下槇遺跡出土 石製品	大安場史跡公園 令和5年度第1回企画展 解説パネル及び解説パンフレット	大安場史跡公園	令和5年7月7日
押出遺跡出土 彩漆土器	『Q&Aで読む縄文時代入門』	吉川弘文館	令和6年4月20日
縄文カレンダー イラスト（当館所蔵）	オピニオン誌「ルネサンス」	ダイレクト出版	令和6年5月10日
押出遺跡出土 炭化食品 （クッキー状炭化物）	2024年度 小学ポピー6年生8月号 社会	新学社	令和6年8月1日

### (2) 刊行物一覧

名称	発行日
令和5年度特別テーマ展「高瀬山の考古学Ⅱ—弥生時代から中世—」	令和5年6月10日
第31回企画展図録「山形県内の指定文化財—考古資料—」	令和5年9月9日
館報うきたむ61号	令和5年7月1日
館報うきたむ62号	令和5年12月1日
2023年報	令和6年3月31日

## 6. 入館者

### (1) 令和5年度 月別入館者

月	有料入館者								無料入館者			計			合計
	個人		団体		減免者		小計		高校生以下	視察 その他		一般	大学生	高校生以下	
	一般	大学生	一般	大学生	一般	大学生	一般	大学生		一般	大学生				
4	98	2	130	0	0	0	228	2	236	379	0	607	2	236	845
5	125	2	453	0	83	0	661	2	1,157	1,305	0	1,966	2	1,157	3,125
6	83	1	0	0	30	15	113	16	254	157	0	270	16	254	540
7	88	3	0	0	4	0	92	3	93	42	0	134	3	93	230
8	118	6	0	0	17	0	135	6	204	382	0	517	6	204	727
9	86	7	46	0	5	0	137	7	39	183	0	320	7	39	366
10	146	2	26	0	52	53	224	55	202	166	0	390	55	202	647
11	74	1	0	0	40	0	114	1	136	148	0	262	1	136	399
12	28	1	0	0	0	0	28	1	17	84	0	112	1	17	130
1	25	0	0	0	0	0	25	0	13	25	0	50	0	13	63
2	42	1	4	0	0	0	46	1	4	53	0	99	1	4	104
3	46	8	12	0	0	0	58	8	9	35	7	93	15	9	117
合計	959	34	671	0	231	68	1,861	102	2,364	2,959	7	4,820	109	2,364	7,293

### (2) 主な入館団体

- 《幼稚園等》 たかはたこども園、認定こども園すぎの子、よつばこども園愛真こども園 やしろ保育園、寒陵スクール
- 《小学校》 鶴岡市立藤島小学校、鶴岡市立あさひ小学校、高島町立二井宿小学校、庄内町立余目第二小学校、高島町立亀岡小学校、酒田市立若浜小学校、高島町立和田小学校、鶴岡市立京田小学校、高島町立糠野目小学校、酒田市立松山小学校、高島町立高島小学校、米沢市立広幡小学校、高島町立屋代小学校
- 《特別支援学校》 山形県立山形盲学校
- 《大学》 山形大学、山形県立米沢短期大学
- 《学校以外》 高島町文化財保護会、山形市東沢地区友愛の会、親子バスツアー、大江町教育委員会、最上町区長会クラブ、長井市黒獅子の会案内人
- 《出前講座》 米沢市立興讓小学校、高島町立高島小学校、米沢市立南原小学校 縄文女神祭り、亀岡地区公民館放課後子ども教室、米沢市立万世小学校 やしろ保育園、南陽市立宮内小学校

### (3) 来館者アンケート

- ・昔の人があんなに大きい土器を作っていたことがおどろきでした。実物を見るのは大事ですね。(村山市、20代女性)
- ・西ノ前タイプの土偶を集めた展示を見てみたい。(庄内、50代男性)
- ・車をもっと近くに止められると、乗り降りが楽です。(山形市、70代女性)

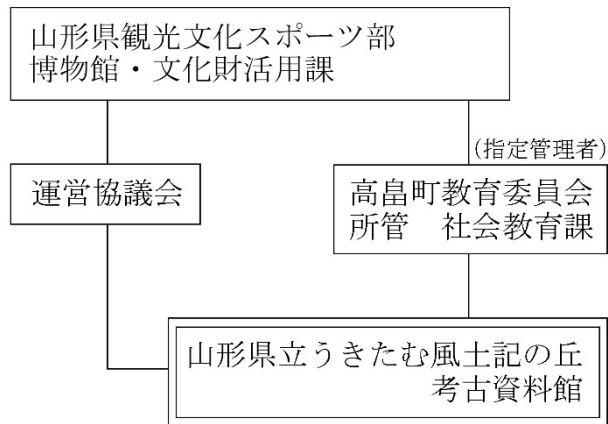
#### 学校の見学・出前授業のようす



## 7. 管 理 及 び 運 営

### (1) 組織・職員

#### [組織]



#### [職員]

職 名	氏 名	備 考
館 長	渋谷 孝雄	高島町会計年度任用職員
館長代理	水口 哲	高島町職員
学芸員	松本 恵美	高島町会計年度任用職員
学芸員	伊藤 純子	高島町会計年度任用職員
事務職員	高橋 勉	高島町会計年度任用職員
事務職員	木村 由紀子	高島町会計年度任用職員

### (2) 運営協議会

#### 【第1回】

令和5年11月9日(木) 本館研修室

会議内容

- ①運営協議会会長及び副会長の選出
- ②令和5年度考古資料館事業実施中間報告
- ③令和6年度考古資料館事業運営方針(案)

#### 【第2回】

令和6年2月6日(火) 本館研修室

会議内容

- ①令和5年度考古資料館事業実施中間報告
- ②令和6年度考古資料館事業計画(案)
- ③その他

#### [本館運営協議会委員名簿]

氏 名	備 考
阿部 明彦 (副会長)	山形考古学会 会長
阿部 哲人	米沢市上杉博物館 学芸主査
石岡 かほる	上杉の御湯 御殿守 女将
岩崎 義信 (会長)	長井市観光文化交流課文化交流室 市史編纂担当
大浦 真由美	高島町立図書館 館長
高桑 弘美	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター 事務局長補佐
鈴木 久仁子	高島町立二井宿小学校 校長

## 8. 受 贈 図 書

### 発掘報告書

	名 称	発 行 者
1	城輪柵跡 第52・53次発掘調査報告書	酒田市教育委員会
2	天童市西沼田遺跡	天童市教育委員会
3	寒河江市内遺跡発掘調査報告書(29)	寒河江市教育委員会
4	駒籠柵跡発掘調査報告書2(古代水駅「野後駅」擬定地の発掘調査)	大石田町教育委員会
5	山形県南陽市 北町遺跡 —ドドメキ地点・新田前地点の調査—	南陽市教育委員会・愛知学院大考古学研究室
6	遺跡詳細分布調査報告書 第36集	米沢市教育委員会
7	青森県遺跡詳細分布調査報告書35	青森県教育委員会
8	青森県の窪地として確認できる竪穴	青森県教育委員会
9	令和4年度埋蔵文化財関連活動報告	青森県むつ市教育委員会
10	国史跡山王岡遺跡の研究Ⅳ 土器編2(西区Ⅳ下層・Ⅴ層出土土器編)	弘前大人文社会科学部北日本考古学研究センター
11	岩木山麓における弥生時代前半期の研究2 砂沢・湯ノ沢遺跡発掘調査および昭和33年調査資料の再整理、北東北の土器圧痕調査報告	弘前大人文社会科学部北日本考古学研究センター
12	平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡第83次発掘調査既報第166集	岩手県教育委員会
13	近内中村遺跡(第1分冊) —宮古市都市計画課近内地区土地区画整理事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 2—	岩手県宮古市教育委員会
14	向沢遺跡 —市内遺跡発掘調査報告書9—	岩手県宮古市教育委員会
15	赤前Ⅰ牛子沢遺跡 —市内遺跡発掘調査報告書10—	岩手県宮古市教育委員会
16	崎山貝塚 —崎山貝塚縄文の森公園第Ⅰ期整備事業に伴う内容確認調査— (第21次・第22次調査)	岩手県宮古市教育委員会
17	向新田Ⅲ遺跡 —市内遺跡発掘調査報告書11—	岩手県宮古市教育委員会
18	崎山貝塚 —崎山貝塚縄文の森公園複合施設建設に伴う史跡近接地内容確認調査—(第23次調査)	岩手県宮古市教育委員会
19	令和2年度調査 花巻城発掘調査報告書 三之丸武家屋敷跡	岩手県花巻市教育委員会
20	平成30年度・令和元年度調査 花巻市内遺跡発掘調査報告書 安儀城跡・不動Ⅱ遺跡・大谷地Ⅱ遺跡・蒼前堂遺跡・桜町Ⅰ遺跡	岩手県花巻市教育委員会
21	成田岩田堂館跡(2021年度)	岩手県北上市教育委員会
22	北上遺跡群(2020年度) 野田Ⅰ遺跡・岡島遺跡	岩手県北上市教育委員会
23	立花南遺跡(2021年度)	岩手県北上市教育委員会
24	北上工業団地内遺跡2 馬場野遺跡・二子城跡(2020年度)	岩手県北上市教育委員会
25	北上市内試掘調査報告(2021年度)	岩手県北上市教育委員会
26	和山遺跡発掘調査報告書	岩手県遠野市教育委員会
27	赤川Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県遠野市教育委員会
28	平成元年度～平成30年度試掘調査・工事立会 報告書	岩手県遠野市教育委員会
29	安倍館遺跡発掘調査報告書	岩手県遠野市教育委員会
30	宮代Ⅳ・宮代経塚遺跡発掘調査報告書	岩手県遠野市教育委員会・共和建設株式会社
31	特別史跡 無量光院跡第32・42次発掘調査報告書	岩手県平泉町教育委員会
32	平泉遺跡群発掘調査報告書	岩手県平泉町教育委員会
33	名勝 旧観自在王院庭園発掘調査報告書Ⅳ —第13次調査—	岩手県平泉町教育委員会
34	令和4年度 骨寺村荘園遺跡村落調査研究報告書	岩手県一関市博物館
35	大船渡市 長谷堂貝塚群 平成30・令和2年度緊急発掘調査報告書	大船渡市教育委員会
36	横堀中屋敷遺跡 —国道13号横堀道路事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ—	秋田県教育委員会
37	清水沢遺跡 —鳥海ダム建設に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ—	秋田県教育委員会
38	岩坂下遺跡 —県単道路改築事業一般県道矢坂糠沢線(岩坂下工区)に係る埋蔵文化財発掘調査報告書—	秋田県教育委員会
39	才ノ神遺跡・河川改修事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書-	秋田県教育委員会
40	館ノ下遺跡 第2次調査 高岳地区農地集積加速化基盤整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ	秋田県八郎潟町教育委員会
41	大清水Ⅰ遺跡・大清水Ⅱ遺跡・大清水Ⅲ遺跡 —農地集積加速化基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	秋田県横手市教育委員会
42	金沢城跡 —後三年合戦関連遺跡調査事業に伴う第14次調査既報—	秋田県横手市教育委員会

43	後沢道南遺跡・馬牛館跡	宮城県教育委員会
44	大吉山瓦窯跡Ⅱ	宮城県多賀城跡調査研究所
45	葦塚貝塚 —新渡波地区被災市街地復興土地区画整理事業に伴う発掘調査報告—	宮城県石巻市教育委員会
46	中沢遺跡 —県道石巻鮎川線給分浜復興道路関連遺跡発掘調査報告書Ⅱ—	宮城県石巻市教育委員会
47	清水台遺跡 —第35・36次発掘調査報告—	福島県郡山市教育委員会
48	医療施設並びに共同施設等建築に伴う埋蔵文化財発掘調査業務 稲荷館跡(郡山城) —第1次発掘調査報告書—	福島県郡山市教育委員会
49	道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査業務 鳴神・柿内戸遺跡 —第7次発掘調査報告書—	福島県郡山市教育委員会
50	大善寺古墳群 —2号墳・8号墳試掘調査報告書—	福島県郡山市教育委員会
51	正直古墳群調査保存事業 正直古墳群 —第5次発掘調査報告—	福島県郡山市教育委員会
52	郡山市埋蔵文化財分布調査報告28	福島県郡山市教育委員会
53	大林遺跡 —ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	福島県須賀川市
54	浪江町畜産施設整備事業 弥平迫遺跡 第1次発掘調査	福島県浪江町教育委員会
55	福島県須賀川市前田川大塚古墳第1次調査報告書 大仏古墳群1 福島県須賀川市大仏古墳群第1次調査報告書	福島大学行政政策学類・福島大学行政政策学類 考古学研究室
56	桐生新町水路跡 主要地方道桐生田沼線無電柱化推進計画事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
57	土塩中原遺跡 (一)長久保郷原線(上増田工区)社会資本総合整備(防災・安全)(交安・重点)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
58	前橋市0946・0635遺跡 第1分冊 本文編 (主)前橋玉村線バイパス社会資本総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
59	前橋市0946・0635遺跡 第2分冊 写真図版編 (主)前橋玉村線バイパス社会資本総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
60	前橋市0946・0635遺跡 第1分冊本文編 (主)前橋玉村線バイパス社会資本総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 付図1～付図11	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
61	保渡田屋敷廻り遺跡 西毛広域幹線道路(高崎工区)社会資本総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
62	下里見番場遺跡 下里見安中線(西毛広域幹線道路 高崎安中工区) 社会資本総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
63	下田島遺跡 (一)大川 社会資本総合整備(防災・安全)(5か年)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
64	古戸諏訪遺跡 (一)八瀬川堤防嵩上げ事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
65	下粟須津島B遺跡(27包蔵地)中粟須光明B遺跡(22包蔵地) 令和5年度(一)下粟須馬庭停車場線(下粟須工区)社会資本総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
66	南蛇井北原田遺跡 蚊沼大神分遺跡 (一)蚊沼川 社会資本総合整備(防災・安全)(5か年)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
67	小仁田遺跡 (主)大間々世良田線社会資本総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
68	綿貫堤西遺跡 綿貫堤遺跡 綿貫千葉西遺跡 岩鼻塚合遺跡 岩鼻延養寺遺跡 岩鼻天神遺跡 岩鼻赤城遺跡 岩鼻坂上北遺跡 (都)3.3.7前橋長瀬線外1路線社会資本整備総合交付金(活力基盤)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
69	荒船風穴蚕種貯蔵所跡調査報告書13	群馬県下仁田町教育委員会
70	上泉遺跡 東吾妻町埋蔵文化財発掘調査報告書 第29集	群馬県東吾妻町教育委員会
71	千束台遺跡群発掘調査報告書Ⅶ —千束台遺跡Ⅱ—	千葉県木更津市教育委員会
72	千束台遺跡群発掘調査報告書Ⅷ —塚原遺跡Ⅰ—	千葉県木更津市教育委員会
73	千葉県木更津市 山王台遺跡発掘調査報告書	千葉県木更津市教育委員会
74	木更津市文化財調査集報27 埋蔵文化財の発掘調査報告・新指定文化財調査報告	千葉県木更津市教育委員会
75	北区 十条台遺跡群Ⅲ —十条地区沿道一体整備	東京都埋蔵文化財センター
76	調布市 染地遺跡 —第128地点(多摩川住宅商業施設建設に係る埋蔵文化財発掘調査)— 第1分冊 本文編	東京都埋蔵文化財センター

77	調布市 染地遺跡 —第128地点(多摩川住宅商業施設建設に係る埋蔵文化財発掘調査)— 第2分冊 自然科学分析・写真図版編	東京都埋蔵文化財センター
78	新宿区納戸町遺跡Ⅲ—旧弘方宿舎埋蔵文化財包蔵地の発掘調査—	東京都埋蔵文化財センター
79	北区 十条台遺跡群南橋遺跡 —都営中十条アパート及び都営王子・王子母子アパート撤去等事業に伴う埋蔵文化財発掘調査—	東京都埋蔵文化財センター
80	小金井市 No.22遺跡 小金井本町住宅建替事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	東京都埋蔵文化財センター
81	新宿区市谷本村町遺跡 —市ヶ谷警察総合庁舎の整備に伴う埋蔵文化財の調査(A区～C区)—(第1分冊)	東京都埋蔵文化財センター
82	新宿区市谷本村町遺跡 —市ヶ谷警察総合庁舎の整備に伴う埋蔵文化財の調査(A区～C区)—(第2分冊)	東京都埋蔵文化財センター
83	世田谷区 殿竹遺跡(第4次調査) —東京消防庁世田谷消防署上北沢出張所庁舎改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査—	東京都埋蔵文化財センター
84	北区 道合遺跡 赤羽上ノ台遺跡 —赤羽台団地(第IV期)建替事業に伴う埋蔵文化財発掘調査— 第1分冊	東京都埋蔵文化財センター
85	北区 道合遺跡 赤羽上ノ台遺跡 —赤羽台団地(第IV期)建替事業に伴う埋蔵文化財発掘調査— 第2分冊	東京都埋蔵文化財センター
86	北区 道合遺跡 赤羽上ノ台遺跡 —赤羽台団地(第IV期)建替事業に伴う埋蔵文化財発掘調査— 第3分冊	東京都埋蔵文化財センター
87	穂高古墳群 2022年度E6号墳発掘調査報告書	國學院大學考古学研究室
88	山形県最上町材木遺跡 —縄文時代晩期攻玉遺跡の調査—	明治大学黒曜石研究センター
89	一般国道49号 阿賀野バイパス関係発掘調査報告書18	公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
90	一般国道17号 湯沢待避所・川口待避所関係発掘調査報告書	公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
91	一般国道253号 八箇峠道路関係発掘調査報告書3	公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
92	一般国道49号 阿賀野バイパス関係発掘調査報告書1	公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
93	令和4年度 長岡市内遺跡発掘調査報告書	新潟県長岡市教育委員会
94	軫堂遺跡 —市道日越191号線改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	新潟県長岡市教育委員会
95	前島遺跡 -農地環境整備事業(前島宮島地区)に伴う発掘調査報告書-	新潟県小千谷市教育委員会
96	灰雨上ノ平遺跡	新潟県津南町教育委員会
97	赤沢尻C遺跡 発掘調査報告書	新潟県津南町教育委員会
98	上原B遺跡	新潟県津南町教育委員会
99	新潟県柏崎市 馬場・天神腰遺跡発掘調査報告書	新潟県柏崎市教育委員会
100	新潟県柏崎市内遺跡32 令和3(2021)年度試掘調査等報告書	新潟県柏崎市教育委員会
101	令和4年度 加茂市内遺跡確認調査報告書 馬寄遺跡・舟戸遺跡	新潟県加茂市教育委員会
102	愛知県新城市川路 萩平遺跡の発掘記録 -2021年度発掘調査-	愛知学院大学文学部歴史学科
103	愛知県瀬戸市広久手C3窯跡・広久手F窯跡第3次発掘調査概要報告書	愛知学院大学文学部歴史学科
104	野洲市 西河原宮ノ内遺跡 比留田法田遺跡 湯ノ部遺跡 調査報告	公益財団法人滋賀県文化財保護協会
105	大津市 大野遺跡・普門南遺跡 調査報告	公益財団法人滋賀県文化財保護協会
106	上京遺跡・新町校地遺跡発掘調査報告書	同志社大学歴史資料館

## 展示図録

	名 称	発 行 者
1	没後400年記念特別展 上杉景勝と関ヶ原合戦	米沢市上杉博物館
2	特別展 上杉氏と国絵図の世界	米沢市上杉博物館
3	令和4年度 夏季特別展図録 是川縄文館・弘前大学共同研究展示 行きかう土器とヒト	青森県八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館
4	令和4年度秋季企画展展示図録 食と縄文人	青森県八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館
5	令和5年度 是川縄文館夏季特別展図録 北陸の晩期縄文文化	青森県八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館
6	縄文の流儀 一万年の軌跡	青森県八戸博物館
7	特別展 三内丸山とヒスイ —本州最北に集う緑と技術—	青森県三内丸山遺跡センター
8	特別展 三内丸山と漆 —くらしを彩る技—	青森県三内丸山遺跡センター
9	第21回企画展 大島遺跡に見る蝦夷(エミシ)社会の姿容	岩手県盛岡市遺跡の学び館
10	福島県立博物館令和5年度春の企画展 Go! Go! 5世紀 —東北地方中南部の古墳文化—	福島県立博物館
11	奥会津文化施設間連携企画展 奥会津の縄文	福島県只見川電源流域振興協議会

12	第2回企画展 生誕百年 皆川雅舟展	ただみ・モノとくらしのミュージアム
13	特別展 那須塩原風景画譚	那須野が原博物館
14	第77回企画展 郷土のカルタの世界	群馬県岩宿博物館
15	第78回企画展 岩宿Ⅱ石器文化からみた関東地方	群馬県岩宿博物館
16	早稲田大学を訪れた旧石器人—校地以内遺跡出土資料から—	早稲田大学曾律八一記念博物館
17	特別展 みんなでつなげる鉄道150年 —鉄道発祥の地よこはまと沿線の移り変わり— [前期]図録	公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団
18	特別展 みんなでつなげる鉄道151年 —鉄道発祥の地よこはまと沿線の移り変わり— [後期]図録	公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団
19	活字 近代日本を支えた小さな巨人たち	公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団
20	開館40周年特別展 星降る中部高地の縄文世界 —黒曜石ネットワークによる物流と人流—	山梨県立考古博物館
21	令和4年度 秋季企画展図録 史跡沖ノ原遺跡	新潟県津南町教育委員会
22	令和5年度 秋季特別展 笑う縄文人—縄文人の喜怒哀楽—	新潟県十日町市博物館
23	令和5年度 夏季企画展主張する古墳～新たなシナノの古墳時代象～	長野県立歴史館
24	令和5年度 秋季企画展 信州やきもの紀行～江戸から明治へ～	長野県立歴史館
25	令和5年度 冬季企画展 和田 英～糸づくりにかけた明治の女性～	長野県立歴史館
26	企画展示 いにしえが、好きっ！ —近世好古図録の文化誌—	国立歴史民俗博物館
27	陰陽師とは何か うらない、まじない、こよみをつくる	国立歴史民俗博物館、小さな子社
28	令和5年度 夏季企画展 蔵出し！ ええもん並べまし展	大阪府立近つ飛鳥博物館
29	令和5年度 秋季企画展知られざる南河内 —地域に眠る遺跡たち—	大阪府立近つ飛鳥博物館
30	令和5年度 冬季特別展 まくら—古墳時代の石枕と葬送儀礼—	大阪府立近つ飛鳥博物館
31	令和5年度 秋期特別展 川原寺と祈りのかけら	奈良文化財研究所 飛鳥資料館
32	令和5年度 秋期特別展 律令国家成立前夜	和歌山県立紀伊風土記の丘
33	開館25周年記念 令和5年度秋季特別展 大堰川と由良川の水運 —川と人の暮らし—	京都府南丹市立文化博物館

## 館報・年報

	名 称	発 行 者
1	令和5年度 山形県立博物館報	山形県立博物館
2	上山城郷土資料館年報 第13号	公益財団法人 上山城郷土資料館
3	令和4年度 斎藤茂吉記念館年報 通巻第38号	公益財団法人 斎藤茂吉記念館
4	令和4年度 上杉博物館年報 VOL.35	米沢市上杉博物館
5	2022年度 まなびあテラス年次報告書	東根市公益文化施設まなびあテラス
6	青森県立郷土館報 令和5年度版 通巻50号	青森県立郷土館
7	令和5年度 三内丸山遺跡センター要覧	青森県三内丸山遺跡センター
8	令和4年度 是川縄文館年報 No.12	青森県八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
9	盛岡市遺跡の学び館 令和3年度館報	盛岡市遺跡の学び館
10	岩手大学 平泉文化研究センター年報 第11集	岩手大学平泉文化研究センター
11	平泉文化研究年報 第23号	岩手大学平泉文化研究センター
12	平泉学研究年報 第3号	「世界遺産平泉」保存活用推進実行委員会
13	令和4年度一戸町文化財年報	岩手県一戸町教育委員会
14	2021年度 北上市埋蔵文化財年報	岩手県北上市立埋蔵文化財センター
15	令和4年度 崎山貝塚縄文の森ミュージアム年報	岩手県宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム
16	令和5年度 秋田県立博物館年報	秋田県立博物館
17	令和4年度 東北歴史博物館年報	宮城県東北歴史博物館
18	2022年度 多賀城跡調査研究所年報	宮城県多賀城跡調査研究所
19	2021年度 東北大学埋蔵文化財調査室年次報告	東北大学埋蔵文化財調査室
20	那珂川町なす風土記の丘資料館 令和4年度年間活動記録報告書	栃木県那珂川町教育委員会
21	令和4年度 岩宿博物館年報	群馬県岩宿博物館
22	令和4年度 松戸市立博物館年報 第30号	千葉県松戸市立博物館
23	令和4年度 東京都埋蔵文化財センター年報 第43号	東京都埋蔵文化財センター
24	十日町市博物館年報 第9号	新潟県十日町市博物館
25	若狭歴史博物館 令和4年度館報	福井県立若狭歴史博物館
26	岐阜県博物館報 第46号	岐阜県博物館

27	令和4年度(2022) 近つ飛鳥博物館館報 26号	大阪府立近つ飛鳥博物館
28	同志社大学歴史資料館 館報 第26号	同志社大学歴史資料館
29	令和3年度紀伊風土記の丘年報 紀伊風土記の丘研究紀要第49号	和歌山県立紀伊風土記の丘
30	令和4年度 高知県立歴史民俗資料館年報 No.32	高知県立歴史民俗資料館
31	2022年度 大分県立歴史博物館年報	大分県立歴史博物館

## 研究紀要

	名 称	発 行 者
1	山形県立博物館研究報告 第41号	山形県立博物館
2	西川町大井沢自然博物館研究誌 寒河江川流域自然誌研究第16号	山形県西川町大井沢自然博物館
3	浦幌町立博物館紀要 23号	北海道浦幌町立博物館
4	特別史跡 三内丸山遺跡 研究紀要 -4-	青森県三内丸山遺跡センター
5	是川縄文館 研究紀要 第12号	青森県八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
6	青森県立郷土館研究紀要 第47号	青森県立郷土館
7	一関市博物館研究報告 第26号	岩手県一関市博物館
8	北上市立博物館研究報告 第23号	岩手県北上市立博物館
9	東北歴史博物館研究紀要 第24号	宮城県東北歴史博物館
10	地底の森ミュージアム・縄文の森広場 研究報告2022	宮城県仙台市富沢遺跡保存館
11	福島県文化財センター白河館 研究紀要 第21号	福島県文化財センター白河館
12	岩宿博物館紀要 第4号	群馬県岩宿博物館
13	東京国立博物館紀要 第58号	東京国立博物館
14	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.700	東京国立博物館
15	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.701	東京国立博物館
16	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.702	東京国立博物館
17	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.703	東京国立博物館
18	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.704	東京国立博物館
19	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.705	東京国立博物館
19	書陵部紀要 第74号 陵墓篇	宮内庁書陵部
20	書陵部紀要 第74号	宮内庁書陵部
21	資源環境と人類 明治大学黒曜石研究センター紀要 No.13	明治大学黒曜石研究センター
22	國學院大學博物館研究報告 2024 第40輯	國學院大學博物館
23	貝塚博物館紀要 第49号	千葉県市立加曾利貝塚博物館
24	松戸市立博物館紀要 第30号	千葉県松戸市立博物館
25	公益財団法人日本文化財保護協会 『紀要』2023 第7号	公益財団法人日本文化財保護協会
26	2023 研究紀要 第13号	公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
27	野尻湖ナウマンゾウ博物館研究報告 第31号	長野県野尻湖ナウマンゾウ博物館
28	長野県立歴史館 研究紀要 2023 第29号	長野県立歴史館
29	2022 元興寺文化財研究所 研究報告	公益財団法人 元興寺文化財研究所
30	纏向学研究センター研究紀要 2023 第11号	奈良県桜井市纏向学研究センター
31	岐阜県博物館調査研究報告 第43号	岐阜県博物館
32	大手前大学史学研究所紀要 第17号	大手前大学史学研究所
33	大手前大学史学研究所研究報告 第22号	大手前大学史学研究所
34	大分県立歴史博物館研究紀要 23号	大分県立歴史博物館
35	令和4年度 宮崎県総合博物館研究紀要 第43輯	宮崎県総合博物館

## 資料目録

	名 称	発 行 者
1	北東北三県考古学会合同公開シンポジウム 北東北の平安時代墓制	岩手考古学会
2	松戸市博物館館蔵資料目録1 プラスチックのデザイン関係資料	千葉県松戸市立博物館
3	トチノミ食の民俗学 ～東日本地域に於けるアク抜き事例の集成～	明治大学 栗島 義明
4	長野県立歴史館収蔵文書目録 22	長野県立歴史館

## 学術雑誌

	名 称	発 行 者
1	山形史学研究 51号	山形史学研究会
2	山形県地域史研究 第48号	山形県地域史研究協議会
3	米沢史学 第39号	米沢史学会
4	歴史遺産研究 17号	東北芸術工科大学歴史遺産学科
5	青森県考古学 29号	青森県考古学会
6	岩手考古学 34号	岩手考古学会
7	秋田考古学 第67号	秋田考古学協会
8	宮城考古学 25号	宮城県考古学会
9	福島考古 第65号	福島県考古学会
10	新潟考古 34号	新潟県考古学会

## 論文・抜粋

	名 称	発 行 者
1	国家形成期におけるヤマト政権と地域権力の相互関係の定義 —東北地方を中心に—	福島大学行政政策学類
2	更新世末期から完新世初頭における遊動的狩猟採集民 予稿集	群馬県岩宿博物館
3	研究論集 XXXVII	東京都埋蔵文化財センター
4	鳥浜貝塚研究7	福井県立若狭歴史博物館
5	古墳における湛水状態の周濠内情報の収集に関する研究	花園大学

## 単行本

	名 称	発 行 者
1	寒河江市史を読む50の切り口	寒河江市
2	東日本穀物栽培開始期の諸問題	株式会社 雄山閣
3	考古検定過去問題集3	公益社団法人日本文化財保護協会
4	—自説— 出羽の國の成立ちと変遷	大越家音羽山富神

## 雑 誌

	名 称	発 行 者
1	考古学が中世史を変える vol.24	国立歴史民俗博物館
2	REKIHAKU 推定不能	国立歴史民俗博物館
3	REKIHAKU 歴史をつなぐ	国立歴史民俗博物館
4	REKIHAKU 顔・身体をもつ道具たち	国立歴史民俗博物館
5	歴史人 縄文と弥生 2023.7月号	ABCアーク
6	月刊文化財 8月号／令和5年	第一法規株式会社
7	日本歴史 第905号／2023年10月号	吉川弘文館
8	観光と考古学 第4号	観光考古学会

## その他

	名 称	発 行 者
1	館山城ハンドブックⅡ	館山城保存会
2	図書館を使った調べる学習コンクール入賞作品「アクって悪者?～アクの正体を探れ!～」	公益財団法人図書館振興財団
3	長井市史 通史第三巻 近代編	長井市
4	抜萃のつづり	(株)クマヒラ
5	世界遺産登録記念誌「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群	宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会
6	大分県立歴史博物館総合案内	大分県立歴史博物館

# 2023／年報

令和6年（2024年）3月31日

編集・発行 〒992-0302

山形県東置賜郡高畠町大字安久津 2117

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

TEL 0238-52-2585

FAX 0238-52-4665

印刷

カトヤ印刷